

# 魚病被害の内訳（令和4年）

被害額の大きい魚種	合計生産額 (百万円) (A)	合計推定被害額 (百万円) (B)	(B/A)	魚種別に被害割合の高い疾病					
				1位	被害額に占める割合	2位	被害額に占める割合	3位	被害額に占める割合
1 ぶり類	133,806	4,923	3.7%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	38.1%	ノカルジア症	33.4%	連鎖球菌症 (未同定)	6.8%
2 うなぎ	89,299	1,213	1.4%	パラコロ病	36.4%	ウイルス性血管内皮壊死症 (鰓うっ血症)	13.8%	不明病 (原因不明)	13.6%
3 まだい	65,211	1,045	1.6%	エドワジエラ症 (パラコロ病以外のエドワジエラ・タルダ感染症)	69.1%	滑走細菌症	5.8%	マダイリドウイルス病	5.7%
4 ひらめ	3,310	726	21.9%	エドワジエラ症 (パラコロ病以外のエドワジエラ・タルダ感染症)	62.3%	連鎖球菌症 (未同定)	32.1%	Streptococcus iniae感染症 (β溶血性レンサ球菌症)	2.9%
5 その他の海産魚類	5,566	608	10.9%	連鎖球菌症 (未同定)	43.7%	不明病 (細菌性)	13.5%	不明病 (原因不明)	11.8%
6 くらまぐる	60,239	465	0.8%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	44.5%	連鎖球菌症 (未同定)	35.5%	マダイリドウイルス病	15.4%
7 しまあじ	7,589	405	5.3%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	66.5%	連鎖球菌症 (未同定)	25.7%	ノカルジア症	4.3%
8 ふぐ類	8,279	342	4.1%	粘液胞子虫性やせ病	61.8%	不明病 (原因不明)	18.6%	白点病	6.2%
9 くるまえび	7,424	248	3.3%	ピブリオ病	70.0%	不明病 (原因不明)	16.8%	鰓黒病 (フサリウム症)	12.5%
10 にじます	5,113	186	3.6%	伝染性造血器壊死症 [IHN]	44.2%	冷水病 (細菌性冷水病) [BCWD]	16.3%	ミズカビ病	12.9%

